

屋内消火栓操法 (2名操法) 実施要領



令和3年8月(修正)

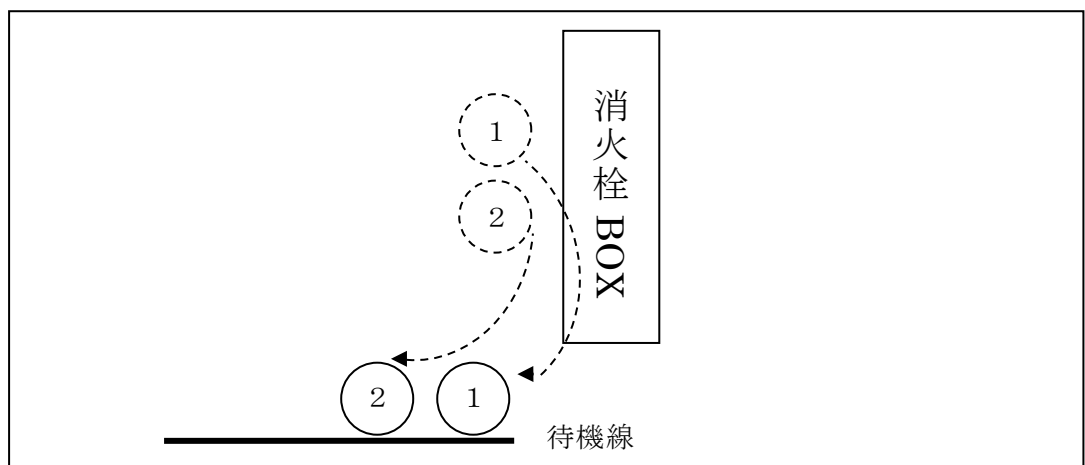
屋内消火栓操法（2名操法）実施要領

《 事前点検 》

1番員及び2番員は、消火栓の前で正対し点検を実施する。

1番員の「右向け-右」「前へ-進め」の号令により待機線に「速足-止まれ」「右向け-右」の号令により集合後、1番員及び2番員は同時に服装点検を実施し整列する。

各番員は同一線上になるように整頓後、整列休めの姿勢で待機線上にかかとが入る位置を確認、整列休めの姿勢で待機する。



《 想定 》

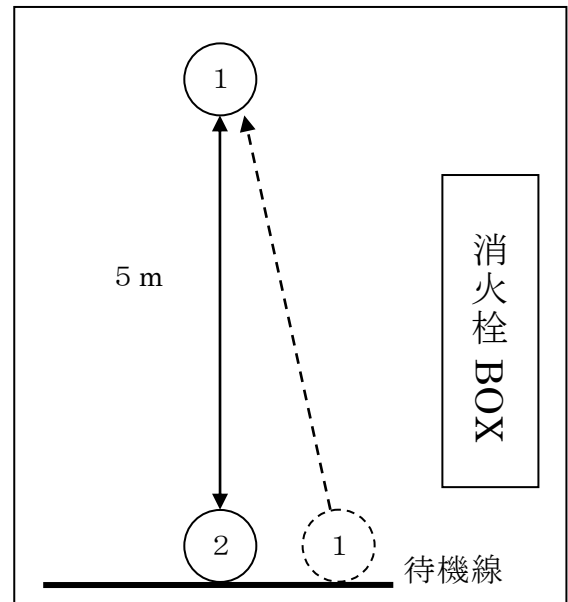
1番員

1番員は、係員の「操法開始」の合図で、基本の姿勢をとり、半ば左向けを行い、駆け足で発進し、2番員前方おおむね5mの指揮位置で左向け止まれの要領で停止する。

2番員に相対し「気をつけ」「火点は前方の標的、屋内消火栓操法」と隊員に対して想定の指示を行う。

2番員

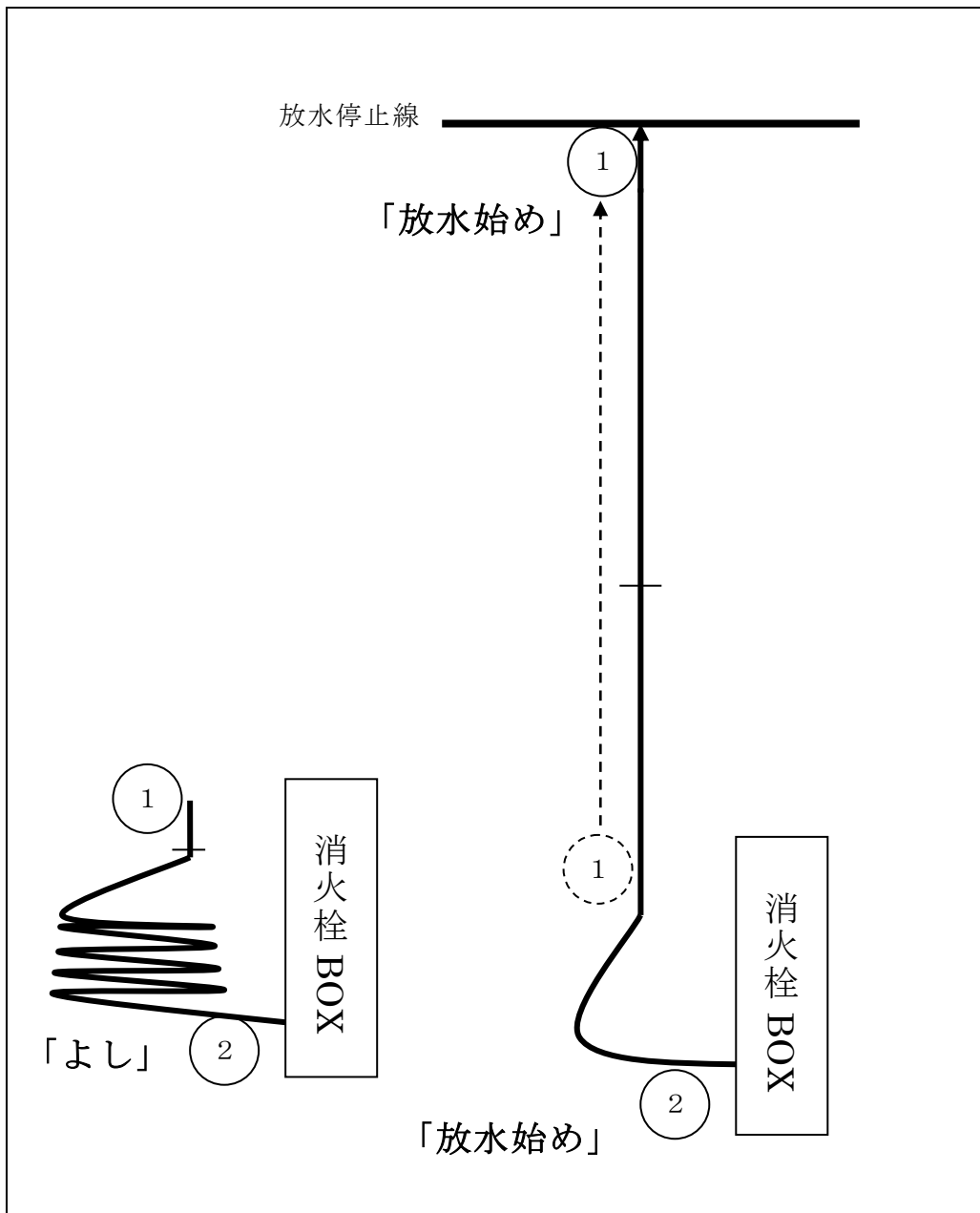
2番員は、基本の姿勢で1番員の指示を受ける。



《 操作開始 》

1 番員

1 番員は、「操作—始め」の号令をする。2 番員の「よし」の合図を確認し、半ば左向けを行い、駆け足で発進し消火栓ボックスに移動、2 番員と協力して第 2 ホースを上側、筒先が下になるように 2 番員と同時に取り出し右脇に抱え、火点方向に向きを変え、2 番員の「よし」の号令で火点に向け駆け足で発進、第 1 ホース及び第 2 ホースを延長、放水停止線にいたり、2 番員に「放水始め」と号令し、2 番員の右手が垂直に上がったのを確認、基本注水姿勢にて標的に注水する。



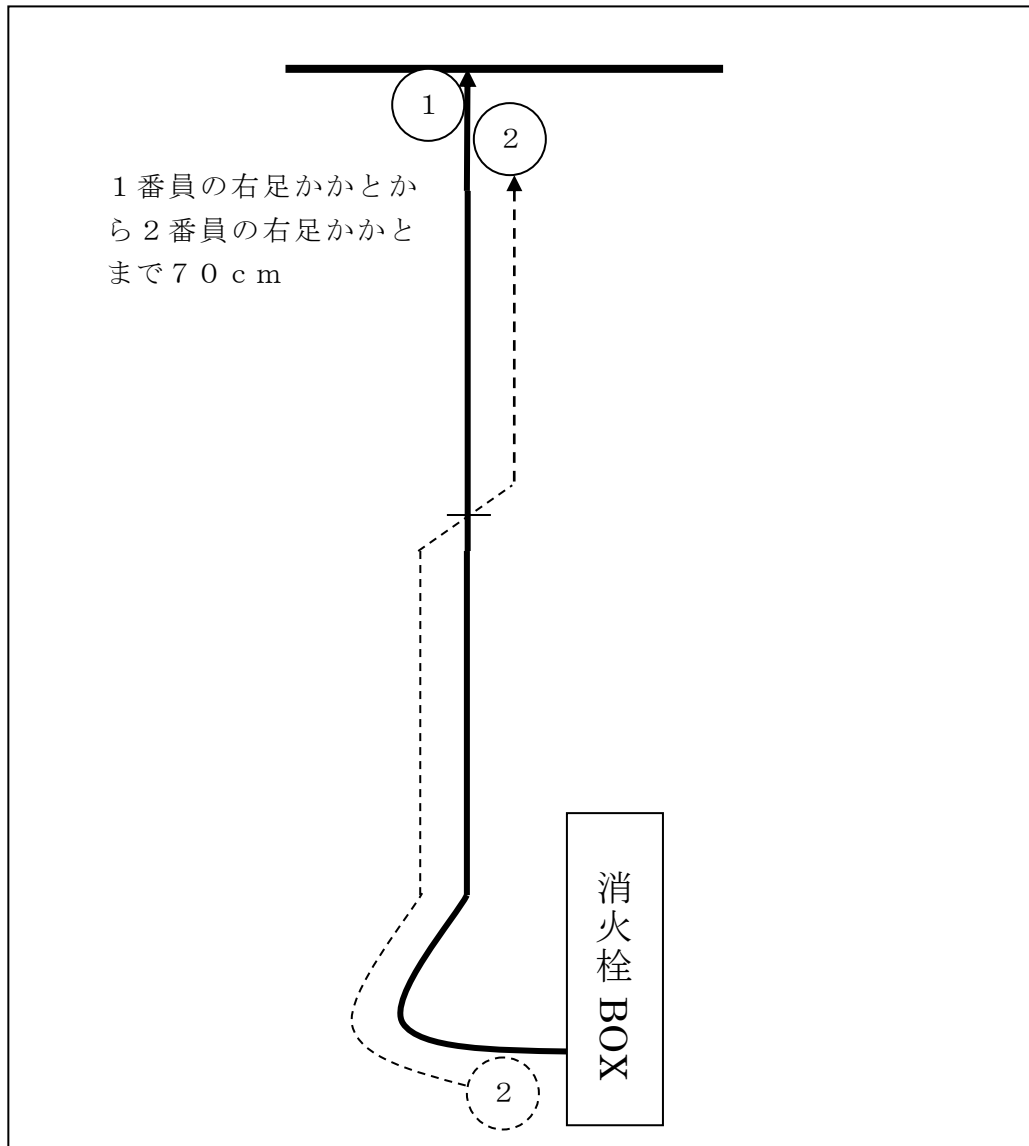
2 番員

2 番員は、1 番員の「操作—始め」の号令で「よし」と合図し、半ば右向けを行い、駆け足で消火栓ボックスに移動、起動ボタンを押し、消火栓の扉（両手で操作）を開く。

第1ホースを取り出し左前方に置き、余裕ホースをとり、1番員がホースを右脇に抱え火点に向きを変えたのを確認後、「よし」と呼称する。

1番員の第2結合部が着地するまでホースのひっぱりを防止した後、基本の姿勢をとり、1番員の「放水始め」の号令に右手を垂直に上げて「放水始め」を復唱、手を下ろした後、右向けを行い、足を一步踏み出し送水操作（両手でバルブ操作）を行う。

送水状況を確認後、火点に向け駆け足で発進し、延長ホースの左側にそって最短距離を走る。第2結合部をまたぎホースの右側にそってホースを点検しながら注水部署（1番員の反対側1歩後方）にいたり、注水補助姿勢を行う。



《 放水中止 》

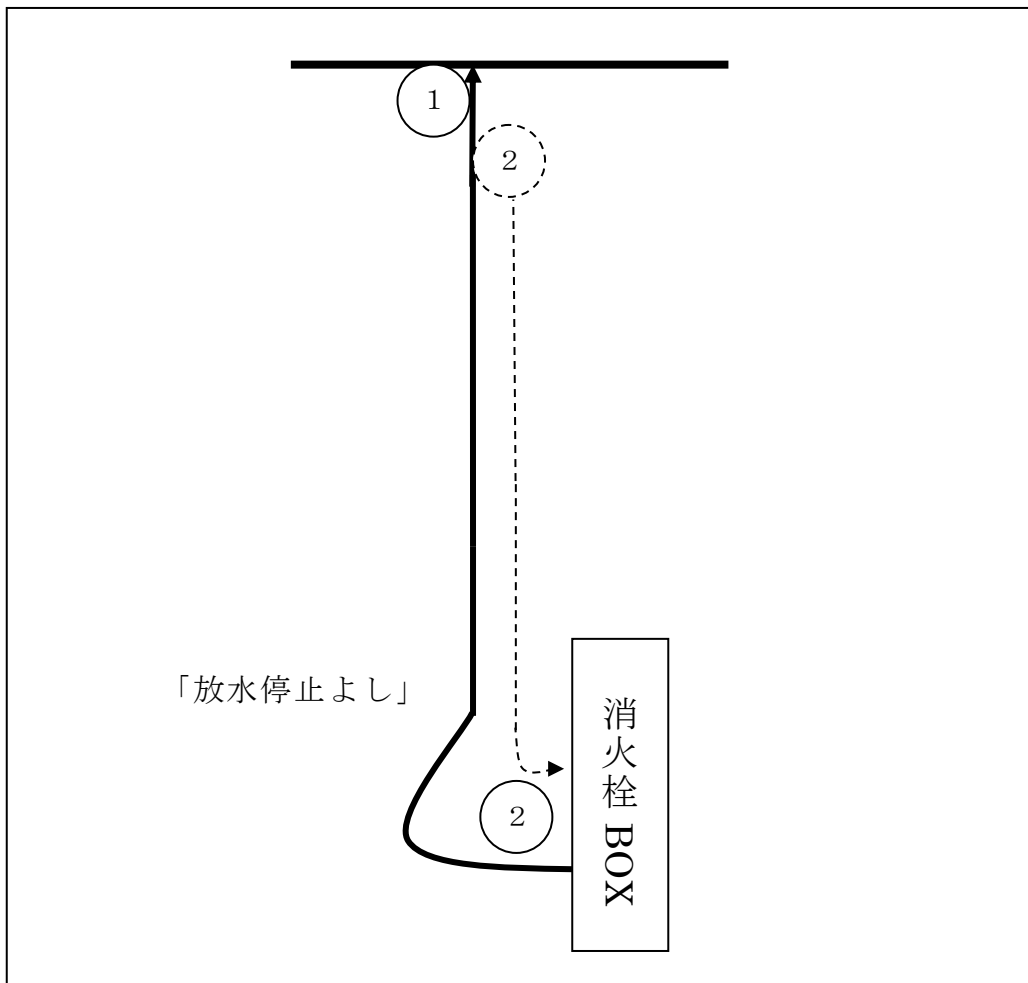
1 番員

1 番員は、係員の「放水中止」合図を確認後、「放水止め」と号令、そのまま注水姿勢をつづける。

2 番員の「放水停止よし」の合図でノズルからの放水停止を確認後、排水操作（ノズルをそのまま下へ向ける）を行い、係員の「排水止め」の合図で、左手をプレイパイプ中央部に滑らせながら握り替え、右手でプレイパイプ上部を握り「よし」と合図して左手を離すと同時に左足を右足に引きつけ筒先を右体側に下げ姿勢を正す。

2 番員

2 番員は、1 番員の「放水止め」に対し「よし」と合図し、ホースを離し後方に向きを変え、駆け足で発進し、延長ホースに沿って消火栓ボックスのホースの内側までいたり、放水停止操作（両手でバルブ操作）及び起動停止操作を行い、火点方向に向きを変え基本の姿勢をとり「放水停止よし」と呼称する。



《 収納 》

1 番員

係員の「収納」合図を確認後、右足でホースをまたぎながら斜め前方に大きく一步踏み出し、2番員に相対「おさめ」と号令し、2番員の「よし」を確認後、筒先を右脇部で抱えるようにして、両手で爪離脱環を引き離し、ホースのオス金具を係員に渡す。

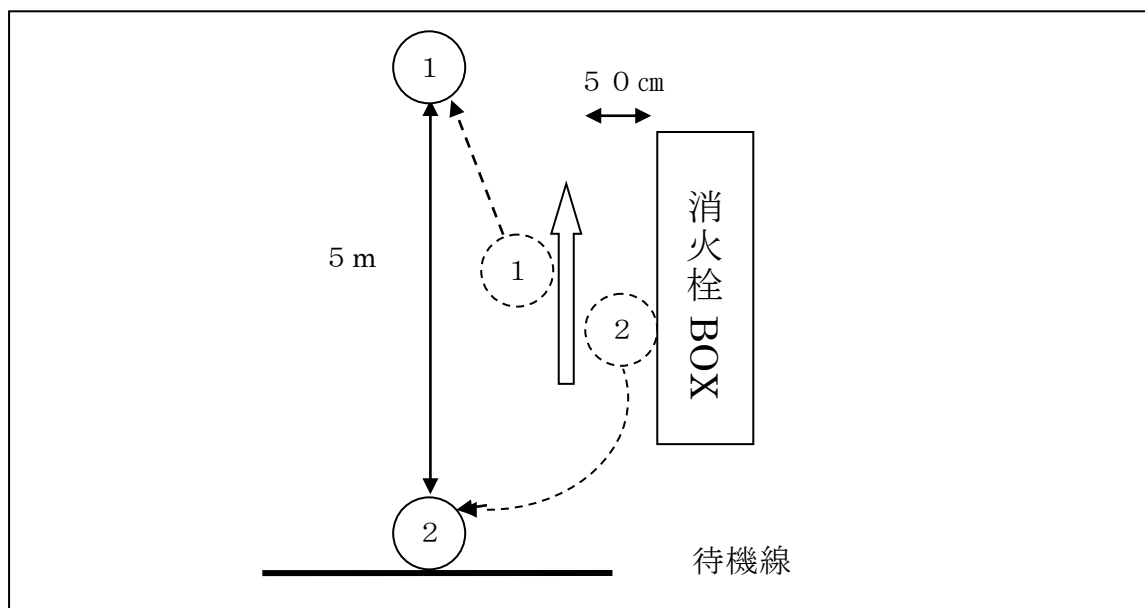
左手でプレイパイプの中央部を持ち、駆け足でホースにそって進み、消火栓ボックスから50cm手前中央部の筒先を置ける位置にいたり、筒先を火点方向にして両手（右手はプレイパイプ下部を上から持ち、左手はプレイパイプ中央部を下から持つ）で置き、身体を起こし左に向きを変え、駆け足で指揮位置にて停止し2番員に相対する。

2 番員

2番員は、1番員の「おさめ」の号令で「よし」と合図し、大きく右向けを行い、左足を一步踏み出し放口のホースを離脱し、第1ホースのメス金具を係員に渡す。

その後、消火栓ボックスの扉を閉め（両手）待機線に戻る。

※ メス金具を受け取った係員は、指揮位置及び待機線に入る各番員のスペースを空けるため、速やかにホースを移動させる。



《 服装点検 》

1 番員

1 番員は、2 番員が待機線に戻った後、負傷の有無及び服装の乱れ等を 2 番員と同時に点検し、基本の姿勢をとる。

2 番員

2 番員は、待機線に戻った後、負傷の有無及び服装の乱れ等を 1 番員と同時に点検し、基本の姿勢をとる。

《 点検報告 》

1 番員

1 番員は、2 番員の服装点検終了後、基本の姿勢を確認し、「点検報告」と号令し、点検結果の報告に対し「よし」と合図する。

2 番員

2 番員、1 番員の「点検報告」の号令で 1 番員に異常の有無を「2 番員異常なし」と報告する。

《 解散 》

1 番員

1 番員は、2 番員に対して「わかれ」と号令し、挙手注目の敬礼を行い、2 番員に対し「右向け・右」と号令し、2 番員の前方に入り「駆け足 - 進め」と号令し駆け足で退場する。

2 番員

1 番員の「わかれ」の号令で挙手注目の敬礼を行う。1 番員の「右向け・右」により向きを変え「かけ足 - 進め」の号令で駆け足で退場する。

屋内消火栓操法配置図

